

ベストフレンドマッチ四国2021 中学女子軟式野球交流大会 U-15女子北海道選抜

優勝



写真：U-15女子北海道選抜

石川舞倅さん(佐中1年)が選出されたU-15女子北海道選抜が、令和3年11月27日～28日に高知県で開催されたベストフレンドマッチ四国2021中学女子軟式野球交流大会に出場し、見事優勝しました。

大会は全12チームが4つのグループに分かれ予選リーグを行い、勝ち抜いた各グループ1位による決勝トーナメントが行われました。U-15女子北海道選抜は、予選で全国制覇経験がある三重県代表の三重高虎ガールズを破るなど、決勝トーナメントに駒をすすめ、準決勝では滋賀県代表の滋賀マイティーエンジェルスに7対2で勝ち、決勝は兵庫県代表K O B E Red Girlsとの接戦を制し2対1で見事初優勝をつかみ取りました。

石川さんは、代打と代走で出場し、均衡した試合の流れを変えるなどチームの優勝に貢献しました。町長へ優勝報告に訪れた際には、「いろいろな地区の選手と選抜チームで野球ができ、試合にも出場することができとても楽しかった。優勝することができ嬉しかったが、自分がチームの中心として活躍していたわけではないので、次は自分がチームの中心として試合に出て優勝したい。まずはメンバーに選んでもらえるよう練習を一生懸命頑張る。」と力強く語ってくれました。

石川さん、U-15女子北海道選抜のみなさん優勝本当におめでとうございました。



写真：石川勝義



北海道高等学校文化連盟
第44回放送コンテスト

6位入選

佐呂間高校放送局が本町で発生した竜巻被害を題材に制作したラジオドラマ「忘れてはいけない」が北海道高等学校文化連盟第44回放送コンテストオーディオメッセージ部門において6位入選を果たしました。
15年の節目に改めて防災意識を高めなければいけないと考えさせられました。



学校給食へ食材を寄贈

1月26日、佐呂間町農業協同組合酪農部会(長瀬哲也部会長)と養豚部会(柳原悟部会長)が教育委員会を訪れ「給食を通じて児童・生徒に乳製品の消費と『サロマ豚四軒團』を広くおぼえてもらいたい」と乳製品の消費拡大とサロマ豚四軒團のPRおよび学校給食の食材にとクリームチーズ、生クリーム、『サロマ豚四軒團』の豚肉を寄贈いただきました。

大変ありがとうございました。



永年の功績を称えて～前町長川根章夫氏に秋の叙勲(旭日双光章)～

平成20年10月から令和2年9月まで、佐呂間町長として連続3期12年の永きに亘り在職し、本町基幹産業の振興、地域医療の確保、教育・福祉の向上等に尽力され、地方自治の振興発展に多大な功績を残されたことにより、叙勲の栄に浴しました。

特に、地域医療対策として「クリニックさろまの開設」、高齢者が安心して住み続けられる住環境対策として「あんしんハウスの整備」、さらには道内における先駆的な取組として、通学バスへの住民の混乗を可能とした「ふれあいバスの整備」を図り、町民にとって利便性の高い地域交通網の再編整備に力を注がれ、教育長在職時には、児童生徒数の減少に伴う教育活動対策として「小中学校の再編統合」で教育環境の整備に務められるなど、町政のかじ取り役として尽力されました。

先般行われた受章報告では、川根氏を長年支えてきた美智子夫人とともに来庁され「受章は、町民のみなさんのご協力とご支援の賜物。微力ながら今後もまちの発展の一助になりたい」と感謝の意を述べておられました。

叙勲は、令和3年11月3日付で、同月24日京王プラザホテル札幌において、鈴木直道北海道知事から伝達されました。



須藤久幸氏 秋の叙勲(瑞宝双光章)

浜佐呂間在住の須藤久幸氏が、50年間の長きにわたり、国勢調査をはじめとする合計35回にも及ぶ各種統計調査にご尽力された功績を称し、瑞宝双光章を受章され、12月13日にご自宅において町長から伝達されました。